

《グラフィック》

平城遷都一三〇〇年祭の

ヒミツをさぐる

《序文》

オートテリック・パーソナリティ
とフロー体験

鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力

——子どもの言語からみる論理的思考力——

「学習法」における論理的思考の
形成についての解釈

小幡 肇 (4)

言葉に注目して子どもの
論理的思考の表出をとらえる

杉 澤 学 (10)

体育学習における論理的思考

——ボール運動の学びから——

西下 旬 也 (16)

◆私の
ひとりごと

最近読んだ脳科学の本から
——通時に通事——

山上 眞佐枝 (22)

実践

算数研究「街角の算数」を楽しもう

——マヤのピラミッド(四年・松田君の研究発表)——

日和佐 尚 (24)

四年 骨 と 筋 肉

谷岡 義 高 (30)

しゃぼん玉遊びから生まれた「しゃぼん玉の歌」

——一年星組「しゃぼん玉遊び」の実践事例から——

廣 津 友 香 (36)

自由制作に見る子どもの発想の豊かさ

——造形学習「あそびテラックス」(二年生)から——

大野木 位 行 (42)

◆教室から 楽しみのひとつ

太田原 みどり (48)

◆ 学習法
Q あんど A

子どもに家庭生活を
見つけさせるには
ひとりひとりの到達度に
合った算数の学習

畔 柳 英 徳 (53)

《特別寄稿》

〔共通事項〕で図画工作科の
授業が変わる

西 尾 正 寛 (56)

《実践寄稿》

景観から世界遺産を考えよう

——景観を守るために何かできるのだろうか——

中 川 克 則 (62)

会員のひろば (68) あとがき (74) 表紙・復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



2009. 8 第440号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラビア》

自分たちで学習を創る
(三年生 曾爾高原合宿)

《序 文》

科学リテラシーと教育 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力
——「めあて・おたすね・ふりかえり」で育む論理的思考力(1)——

論理的思考力を育む教師のはたらき 梶田 萬理子 (4)

自律した学習力を身につけた子どもの育成 谷岡 義高 (10)

論理的思考力を高める算数の学習のあり方 畔柳 英徳 (16)

——学習をつなげる「ふりかえり」の充実を通して——

❖ 私のひとりで

教師の子ども理解と言葉かけ 坂井 誠亮 (22)

実践

車からエネルギー環境について

考える①(四年・くらし) 杉澤 学 (24)

田んぼの稲を育てよう

——二年生「しんごと」学習の取り組み—— 阪本 一英 (30)

音楽を身体で感じよう

——身体表現を通して音楽能力を伸ばす一年生の実践—— 山上 眞佐枝 (36)

戦術理解を中心としたボール運動の学習

——子どもの見合う・話し合う活動を大切に—— 西下 旬也 (42)

❖ 教室から 出 会 い の 喜 び 仲 敦 子 (48)

❖ 学習法 「奈良の学習法」の学習生活 小 幡 肇 (50)

❖ QあんどA 考えを伝え合い、学びを深める 大 野 智 子 (53)

《特別寄稿》

活動システムに基づく子どもが自ら学ぶ授業の構築

——奈良の学習法に学ぶこと—— 中村 恵子 (56)

《実践寄稿》

実感を伴った理解を図るために大切にしていきたいこと

——第六学年 理科「物の燃え方と空気の实践で子どもから学ぶこと」—— 鳴川 哲也 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙…復刻シリーズ・カット絵…嶋守哲夫



《グラフィア》

四年月組 しごと学習

—奈良の水について調べようノ—

《序 文》

リベラルアーツと深みの醸成 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力
—思考の変容や深まりをとらえる(1)—

思考の深まりを促す「関係づける力」 梶田 萬理子 (4)

「感受・模倣・工夫」から 山上 眞佐枝 (10)

「思考」の変容や深まりを考える 大野 智子 (16)

思考の変容や深まりを生む学習の場 大野 智子 (16)

❖ 私のひとりと 聴くことから・・・ 仲 敦子 (22)

実践

「学習を絵や文に表現(反省したもの)から 小 幡 肇 (24)

—子ども「伸び」をさぐる観点

—平成21年度2年月組「福を育てる」過程を通して— 堀本 三和子 (30)

奈良のすてきを見つけよう(三年) 西田 淳 (36)

—その二、創作劇を発表しよう—

聞き合いを通して、考えを深めていく子どもたちを育てたい 太田原 みどり (42)

—物語「三年とうげ」(三年)—

野菜を育てて食べよう(大根)(三年生) 大野木 位行 (48)

—食に関する学習「けいこ理科」と連携して—

❖ 教室から 変 は 変 でも 日和佐 尚 (50)

❖ 学習法 算数学習におけるノート指導 廣津 友香 (53)

❖ QあんどA 音楽の学習活動はこう変わる 川 端 建 治 (56)

《特別寄稿》

今求められている「読解力」とは 東 文 三 (62)

—何を「読み解く」力なのか?—

《実践寄稿》

仲間とともに運動の楽しさにふれる授業づくり 東 文 三 (62)

—子どもたちの想いを生かした体育学習をめざして—

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



2009. 12 第442号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》

2年「じい」とわたしのじいとかん

《序文》

ジヨハリハリの窓 鈴木孝仁 (1)

【主題】

「学習法」で育つ論理的思考力
——子どもの言語からみる論理的思考力(2)——

六年間の「じい」と学習に

おける論理的思考の育ち

小幡 肇 (4)

「げいご音楽」の学習からみる子どもの論理的思考

——「年生「フレットの練習」を題材にわたる歌を歌おう」の実践から——

廣津友香 (10)

子どもの中の論理的思考を

評価する場面の枠組みについて

坂井誠亮 (16)

◆私のひとりごと

話は短いほうがよい 西田 淳 (22)

【実践】

車からエネルギー環境について

考える②(四年・くらし)

杉澤 学 (24)

自分を楽しむことで広がる造形

——六年月組「なりきりワンダーランド」制作記——

大野木位行 (30)

自ら読み深める力を高める

——千年の釘にいとむ(五年)——

大野智子 (36)

子どもがつくる体育研究の学習II

——運動が「できる」と共に体が「わかる」体育を目指して——

西下旬也 (42)

◆教室から 次のめあては何？

畔柳英徳 (48)

◆学習法

内省の目を育てる

「ふりかえり」の書き方

楳田萬理子 (50)

QあんどA

自律的な学びを支える教師の働き

阪本一英 (53)

《特別寄稿》

「奈良の学習法」に培う算数的活動

岡部恭幸 (56)

《実践寄稿》

聴き合う姿勢を育成し、話し合いの深まりを求める授業

——全員参加の授業を求めて——

萩須文裕 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙：復刻シリーズ・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》
学習研究発表会

《序文》

メンターとレズイリエンシー 鈴木孝仁 (1)

主題 「学習法」で育つ論理的思考力

——「めあて・おたすね・ふりかえり」で育む論理的思考力(2)——

自律した学習力を深める子どもの育成

——学習を芸術の域に高める子ども姿——

谷岡義高 (4)

「学習法」で育つ論理的思考力

阪本一英 (10)

国語学習における論理的思考力の育成

——「独自学習と相互学習での「めあて」と「ふりかえり」を通して——

西田淳 (16)

❖ 私のひとりで

継続は力なり 大野智子 (22)

実践

ハムスターとのかかわりから学ぶ子ども

——平成21年度 二年月組——

小幡肇 (24)

ダンゴムシをみつけよう(一年)

堀本三和子 (30)

見通しを持って学習を進める子ども

——4年分——

畔柳英徳 (36)

新型インフルエンザの対応

——学校保健——

仲敦子 (42)

❖ 教室から 四年星組は遊び文化を発信源

坂井誠亮 (48)

❖ 学習法

QあんどA

丁寧言葉話す、正しい日本語を使う子どもの育成
描ける子どもが育つ
支援・指導(造形)

大野木位行 (53)

《特別寄稿》

論理的であることを育むための要件とは

——キャリアの浅い教師にとっての困難を手がかりとして——

矢野博之 (56)

《実践寄稿》

「対話で学び合う授業」の創造

——社会科単元「沖縄から見つめる戦争」を例として——

慶田盛元 (62)

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙…復刻シリーズ・カット絵…嶋守哲夫



《グラビア》
2年月組「しごと」の最終の活動
「リアル仕事館を開こう」

《序文》
K I S S 原則 鈴木孝仁 (1)

主題

「学習法」で育つ論理的思考力
— 思考の変容や深まりをとらえる(2) —

数理的・生活領域における
「思考の変容や深まりをとらえる」
思考から表現への
豊かな環境づくり
子どもの内なる論理を揺さぶり
新たな学習観・創造性を育む

日和佐 尚 (4)
堀本 三和子 (10)
大野木 位行 (16)

❖ 私のひとりと
ところ変われば・・・ 太田原 みどり (22)

実践

低学年から中学年の
体育学習の構想
音楽を身体で感じよう
— 「感受・模倣・工夫」から「思考」への変容や深まり
—
自ら読み深める力を高める②
— 大造じいさんとガン(五年) —
しごと学習「平城遷都二二〇〇年祭」
(第四学年)の取組

阪本 一英 (24)
山上 眞佐枝 (30)
大野 智子 (36)
坂井 誠亮 (42)

❖ 教室からかがやき
子どもが進める理科学習の
始め方・終わり方
子どもたちが自主的に
進める学習(体育)

西田 淳 (48)
谷岡 義高 (50)
西下 旬也 (53)

❖ 学習法
Q あんどA

《特別寄稿》
子どもの姿に目を凝らす
「授業分析」から得られるもの
久野 弘幸 (56)

《実践寄稿》
人とのつながりを大切に
生活科の学習をめざして
本多 千鶴代 (62)

会員のひろば(68) あとがき(72) 表紙…復刻シリーズ・カット絵…嶋守哲夫



2010. 6 第445号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラビア》

わが校の今昔・学習研究集會

《木下の言葉》

「学習研究」創刊の辭より

◆平成の学習法 現在に生きる学習法 梶田 萬理子 (4)

主題 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
—「朝の会」論—

「朝の会」で育つ子どもの学び 日和佐 尚 (6)

生活と学習をつなぐ 堀本 三和子 (12)

「朝の会」で育つ「なかよし」 大野木 位行 (18)

「朝の会」がつくる子どもの
学校・学級生活を考える

《特別寄稿》

主体として学びあう 守屋 淳 (24)

子どもたちを育てる朝の会

実践

「解す(ほぐす)」ことの必要性

—「じと」著書、三年月組わらしじとが「平成22年度を通じ」—

小幡 肇 (30)

子どもの関心に寄り添い進める「しと」学習

—三年生、一年間の「しと」学習—

阪本 一英 (36)

車からエネルギー環境について

考える③(四年・しと)

杉澤 学 (42)

子どもたちの自律的な学習を支える展開と教師の支援

—物語「白いぼうし」(四年)—

西田 淳 (48)

教師の日記 春の遠足 太田原 みどり (54)

◆「しと」と「しんじつ」について 確認しておきたいこと 小幡 肇 (56)

◆「けいご」(国語) 教師の読みをつくる 大野 智子 (58)

◆「なかよし」 学級なかよし 谷岡 義高 (60)

《実践寄稿》

児童が主体となる学習「芦部の学習法」確立への取り組み

—「奈良の学習法」を公立小学校の教育に—

宮下 牧三 (62)

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (69)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》
プール水泳納めの会・
わが校の今昔

《木下の言葉》

学 習 の 意 義 (1)

◆ 平成の学習法 自律的な学びを育む学習の基盤 阪本一英 (4)

主題 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「めあて」論——

子どもが「学習のめあて」を
もつことの重要性 梶田 萬理子 (6)

自律的な学習における
「めあて」の意味と課題 杉 澤 学 (12)

けいこ算数の学習の「めあて」
——自律的学習を始めるための「めあて」—— 畔 柳 英 徳 (18)

《特別寄稿》

解(ほど)かれ、解(ほぐ)す教育実践の地平を！
——教師に求められる技としての「三つのター」に寄せて—— 岡 本 定 男 (24)

実践

独自の学びが合わさる劇の創造へ
——劇「一年月組ならさんぼにいこう」—— 谷 岡 義 高 (30)

「くらしを支えるもの」をつくる。
使「う」食糧・食料(五年) 堀 本 三 和 子 (36)

テーマを持ち、友だちの考えに関わりながら読む
——森 へ(六年)—— 大 野 智 子 (42)

子どもがつくる体育研究の学習Ⅲ
——運動ができる」と共に体が「わかる」体育を目指して—— 西 下 旬 也 (48)

教師の日記 言うことを聞かない子どもを育てる 大野木 位 行 (54)

◆ **しごと** ② 各学年の「関心のあり方」を「手がかりに」し「こと」の主題設定を行う 小 幡 肇 (56)

◆ **けいこ** (国語) ② 自らの学習計画を立てて 独自学習に臨む 西 田 淳 (58)

◆ **なかよし** ② 低学年なかよし集会 阪 本 一 英 (60)

《実践寄稿》

ヤギと子どもとともにも過した四〇〇日
——「一年生活科」だいたすき「ラッキー」の実践から—— 滝 沢 真 紀 子 (62)

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (71)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



2010.10 第447号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラビア》

しづと・美浜合宿(5年生)、
わが校の今昔

《木下の言葉》

獨自學習の必要

◆平成の学習法

自らの能力を練磨する
「けいこ」学習法

日和佐

尚

(4)

(1)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法
——「独自学習」論——

「自律的学習法」創設期における

「独自学習」と今日に継承したもの

すべての学びは生活の中にある

——発見や体験を鮮明にする教師のはたらき——

小幡

肇

(6)

谷岡

義高

(12)

自問自答しながら読み深める

大野

智子

(18)

《特別寄稿》

自分に引きつけて学ぶ

奈須正裕

(24)

実践

電気の研究 IV

——発電した電気を利用しよう①(六年・けいこ理科)——

子どもの学びを育む運動ランドの取り組み

——二年生三年生の運動ランドの実践より——

杉澤

学

(30)

子どもの想像が広がる小宇宙

——「けいこ」造形(二年生)「ムシムシランド」の実践から——

大野

位行

(42)

給食を残さずおいしく食べよう

——「炊きたてごはん」作戦・くらし委員会の取り組み——

太田

原みどり

(48)

教師の日記

自律的に学ぶ単独者

西田

淳

(54)

◆「けいこ」③

「けいこ」創設期の
具体的な学習の様子①

小幡

肇

(56)

◆「けいこ」③
(国語)

独自学習ができる
子どもを育てるために

梶田

萬理子

(58)

◆「なかよし」③

高学年なかよし集会

西下

旬也

(60)

《実践寄稿》

「子どもがつくる算数科学習」をめざして

——「コミュニケーションを通して育む言語力と豊かな学びを——

村岡

智行

(62)

学校だより

(68)

会員のひろば

(69)

あとがき

(70)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫



《グラフィア》

自分の考えを伝える・
わが校の今昔

《木下の言葉》

学習の目的

◆平成の学習法

全身全霊を打ち込む
「じごと」の時間

杉澤 学 (4)

主題

自律的に学ぶ子どもを育てる学習法

——「おたずね」論——

「おたずね」で育つ子どもの学び

日和佐 尚 (6)

「おたずね」が創り出し、

「おたずね」で深める学習

堀本 三和子 (12)

「おたずね」が自律的学習をささえる

西田 淳 (18)

《特別寄稿》

学習に向かう生活と「おたずね」

江間 史明 (24)

実践

「友だちの話朝の会」における「話」聴く調査と課題

—平成22年度 三ヶ月組—

小 幡 肇 (30)

独自学習の原点にあるツール

—メモ帳を持つ子どもたち—

谷 岡 義 高 (36)

根拠のある説明で深める算数の学習

—5年 分 数—

畔 柳 英 徳 (42)

6☆運動ランド(器械運動領域)

—子どもが主体に進めるシンクроматと跳び箱
—四年生五年生六年生の学びをふりかえる—

西 下 旬 也 (48)

教師の日記 自律的に活動する子ども

仲 敦 子 (54)

◆「じごと」創設期の

具体的な学習の様子②

小 幡 肇 (56)

◆「けいこ」

独自学習から相互学習へ

梶 田 萬理子 (58)

◆「なかよし」④

学年なかよし

阪 本 一 英 (60)

《実践寄稿》

「わかり直す」問題解決の学習の必要性

—第6学年「植物の働き」「水溶液の性質」の実践を通して—

川 真 田 早 苗 (62)

学校だより (68)

会員のひろば (69)

あとがき (71)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫

